

「南紀生物」投稿規程 (2017年9月改訂)

1. 投稿報文の著者は、個人会員に限る。ただし共同執筆者には会員以外のものを含むことができる。なお編集委員会が認めたときは会員以外からの特別寄稿を受けることがある。
2. 投稿内容は、生物に関する総説・論文とする。総説・論文は、1編につき、刷り上がり6頁以内とする。これを超過するものについては、超過頁印刷代の全額を著者が負担する場合に限り、認めることがある。
3. 原稿作成の留意点
 - 1) 原稿は日本語を用いて横書き(1行25文字×24行、句読点は「。」と「,」)とする。A4縦判の片面に打ち出した原稿(正副2部)と原稿(図表含む)を保存した電子媒体(CD, DVDなど)を提出のこと。和名はカタカナ、学名はアンダーラインを引きイタリック体に、命名者は第2文字以下に2本のアンダーラインを引きスモールキャピタルに指定のこと。本文中に最初に出てきた学名には命名者名を入れること。例、クマノチョウジゴケ Buxbaumia minakatae S. OKAMURA
 - 2) 1頁目は、表題(和文と英文)と著者名(和文と英文)(*印をほどこして最下行に脚注し、勤務先または住所、E-mail(任意)アドレスを記す)とし、2頁目から、本文・引用文献・図表説明とする。必要ならば欧文要約(Summary)を付ける。複数著者の場合は、右肩に数字をつけ(例、¹⁾, ²⁾), 責任著者には、*印もつけておく。
 - 3) 図はすぐに製版できるようにし、説明は別紙にまとめて書くこと。電子媒体に保存された写真で、カラー写真の場合はカラーでプリントアウトしたものを添える(色補正用に利用、白黒写真も受付)。本誌では写真も図として扱う。図(特に図中の文字の大きさ)は縮小率を考慮して作成すること。図の縮小率は編集委員会に一任すること。また、表や図のおよその位置は原稿の右欄外に朱記のこと。なお、本会HPの割付レイアウト用枠を参考にするとイメージしやすくなる。
 - 4) 本文中での文献の引用は次の例に従う。3名以上のものについては「ほか」または「*et al.*」とする。欧文字人名は第2文字以下に2本のアンダーラインを引き、スモールキャピタルに指定のこと。
例1. 本種の検索にあたっては、松原(1955)及び明仁親王・目黒(1977)によった。
例2. …と報告されている(黒田, 1957, 1960; 湊, 1976; ADACHI & WADA, 1998)。
例3. YAMADA et al. (2001)と山田ほか(2002)は…
 - 5) 文献は本文中に引用されたもの限り、かつ、引用されたものはすべて末尾に一括して次の順にあげる。①第1著者の姓のアルファベット順とする。②第1著者が同一の場合は単独のものを最初におき、そのあとは第2著者の姓のアルファベット順とする。第2著者も同一の場合は、第3著者以下について上記に準じて配列する。③すべての著者が同一のものについては、発表の年代順とする。④同一著者かつ同一年代のものについては、年号のあとにアルファベットを付して、1972a, 1972bのように区別する。
 - 6) 末尾の引用文献は下記の形式によって記すこと。雑誌の巻数は波アンダーラインを引き、ゴシック体に指定のこと。号数は()に入れる。
<雑誌の場合> 著者名. 年号: 表題. 雑誌名, 巻(号), 頁.
<単行本の場合> 著者名. 年号: 表題. 頁数. 発行所, 発行地.
例1. 内田絃臣. 1977: 紀州産多毛類II ウロコムシ その1. 南紀生物, 19(1), 6-12.
例2. 沼田 真. 1967: 生態学方法論. 改訂版. 254pp. 古今書院, 東京.
例3. 三宅貞祥. 1965: 十脚目異尾類 (ANOMURA) 概説. in 岡田 要ほか編. 新日本動物図鑑 [中], 630-652. 北隆館, 東京.
例4. SAKAI, T. 1969: Two new genera and twenty-two new species of crabs from Japan. Proc. Biol. Soc. Wash., 82, 243-280.
例5. MAYR, E. 1963: Animal Species and Evolution. 797pp. The Belknap Press of Harvard University Press, Cambridge.
例6. SHAW, J. K. & T. S. HOPKINS. 1977: The distribution of the family Hapalocacinidae (Decapoda, Brachyura) on the Florida Middle Ground with a description of Pseudocryptochirus hypostegus, new species in D. L. TAYLOR (ed.) Proceedings; Third International Coral Reef Symposium, 1, 177-183. Rosenstiel School of Marine and Atmospheric Science, University of Miami, Miami.
4. 原稿の採否、割付、再校以降の校正等については編集委員会に一任のこと。なお、初校のみを著者校正とするが、版の組み換え等が必要な大きな変更は認めない。著作権は南紀生物同好会に帰属する。

※ 投稿の際は、この「投稿規程」と「会告」をよく読み、最近号を参照して下さい。

原稿の送付先 〒646-0005 和歌山県田辺市秋津町965
会誌「南紀生物」 土永浩史方 南紀生物同好会 会誌編集部
(Tel. & Fax. 0739-26-8876)

1. 会誌の原稿

改訂した投稿規程に従って、原稿を作成して下さい。

- ① 1行25文字、24行で、句読点はマル「。」とコンマ「,」です。
- ② 原稿の1枚目には、表題・著者名・英文の著者および表題(本誌参照)を順に記入し、下部に、脚注として、著者の所属または住所(あればメールアドレス)を記入する。著者が1人の場合は、右肩に* (アスタリスク)をつけ、脚注と対応させる。複数著者の場合は、右肩に数字をつける(例: ¹⁾, ²⁾)。その場合、責任著者には、* もつけておく。原稿2枚目以降、本文・引用文献・図表等の説明とする。
- ③ デジタル写真やパソコンなどで作成した図・表は、PP・PDF・JPGなどそのまま印刷可能なデータとして保存する、もしくは表等を作成する必要がある場合は、その作成ソフト(エクセルやワード等)の元データを、電子媒体(CD・DVD・USBメモリー等)に保存し、提出して下さい。
従来の図や写真の原稿作成の場合、必ず1枚ずつ台紙に貼り付け、その上にトレーシングペーパーをめくられるように貼り付けて下さい。また図や写真の上下の指定は台紙の余白に記し、図に文字や矢印などの印刷を希望される場合は、トレーシングペーパーに鉛筆で記入しておいて下さい。
図、表などは刷り上がり頁の1/2頁幅や1頁幅を想定して作成して下さい。図の大きさは最終的には編集会議で決定されます。縮小に耐えるように、図中の文字の大きさと線の太さ、バランスに配慮して作図して下さい。
- ④ 図・表は直ちに印刷可能な状態で提出のこと(原図返送希望の場合は投稿時に連絡のこと)。写真等はカラーとなります(印刷代は不要)ので、必ずカラーでプリントアウトした写真等を付けて下さい。色補正に使用します。
- ⑤ 図などの写植・トレースなどを外注する時の費用は著者負担とします。
- ⑥ 原稿においては、学名をイタリック体にしたり、見出しをゴシック体にしたり、欧文人名の2文字目以降をスモールキャピタルにする必要は特にありませんが、これらの指定を意味する1本のアンダーライン(イタリック体)、2本のアンダーライン(スモールキャピタル)、他に波形のアンダーライン(ゴシック体)を必ず付けて下さい。
- ⑦ 引用文献で、これまで同一著者が並ぶ場合は、棒線(——)を記し、氏名を省略していましたが、本号より、氏名はそのまま記述することとします。ご注意下さい。
- ⑧ また、雑誌の引用の際には、巻と号の区別を実物を見て記入して下さい。巻はゴシックですが、号は()に入れ、ゴシックではありません。
- ⑨ ワードで原稿を作成する方は、頁数の記入を忘れないようにして下さい。

- ⑩ 本会のホームページ <http://nankiseibutu.jp/> に、投稿原稿が刷り上がり何頁に相当するかという概要を知ることができるよう、割付レイアウト用の枠を用意しています。一太郎用とワード用の2種類がありますので、手元にコピーしていただき、図や表をレイアウトして、刷り上がりをイメージして下さい(原則、表は頁の上側、図は頁の下側に配置)。投稿の際に、プリントアウトした割付レイアウトを同封して下さい。元枠はA4サイズですので、B5に縮小して両面印刷していただくと、さらに刷り上がりをイメージしやすくなります。
- ⑪ 原稿(原図や表、電子媒体)は原則として返却しません。返却希望の際は、予め申し出るとともに返送用封筒(住所記入、切手貼付)を用意し、郵送時に同封しておくこと。
- ⑫ 編集委員会では、投稿された原稿を、複数名により、以下の点に注視して読み合わせをしています。
 - a. 表題に沿った内容で、中身が構成されているか。
 - b. 論理的な構成がなされているか。誤字や脱字がないか。
 - c. 必要最小限の図(写真含)や表が適正であるか。
 - d. 引用文献は適正に書かれているか。
 - e. 投稿規程に沿った原稿であるか。

2. 別刷

別刷は100部以上(100部単位)で、必要部数を原稿の第1頁に朱書すること。作成費用は全額著者負担です。

a) 100部(表紙付き, 税込み)

1~2頁: 5,000円	3~4頁: 7,000円
5~6頁: 9,000円	7~8頁: 11,000円
9~10頁: 13,000円	

b) 100部を超えるもの(表紙付き, 税込み)

頁数に関わらず、100部毎に4,000円の追加です。

3. PDFファイル

表紙付きのPDFファイルを希望する著者には、無料でメール添付にて印刷所より送付します。校正時、申し出て下さい。

4. 増加頁

制限頁数(6頁)を超える原稿については編集委員会承認されたもののみ掲載し、超過頁にかかる費用(1頁8,000円, 税込み)は全額著者負担とします。

ただし、次の第60巻2号(70周年記念号)に関しては、テーマ「紀伊半島の自然」に沿う内容で投稿いただきましたら、刷り上がり10頁まで、増加頁代はかかりません。投稿時、申し出て下さい。それ以外の投稿も受け付けています。

5. 南紀生物同好会のホームページ

<http://nankiseibutu.jp/>